

これまでの取組

地区	取組開始年度	主な取組状況
下丹生	平成29年度	H29.07.06 水害・土砂災害に強い地域づくりの取組ご提案
		H29.12.04 出前講座
		R01.10.15 役員WG（図上訓練）
		R02.07.19 役員WG（まちあるき）
		R02.12 簡易量水標、まるまち看板設置
		R03.08.05 防災情報取得方法の確認
		R04.05.26 役員WG（避難計画の検討）
		R04.08.02 役員WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）
		R04.08.03 既存宅地の現地調査
		R04.10.14 住民WG（水害・土砂災害に強い地域づくり計画、浸水警戒区域の説明）



平成29年12月 出前講座

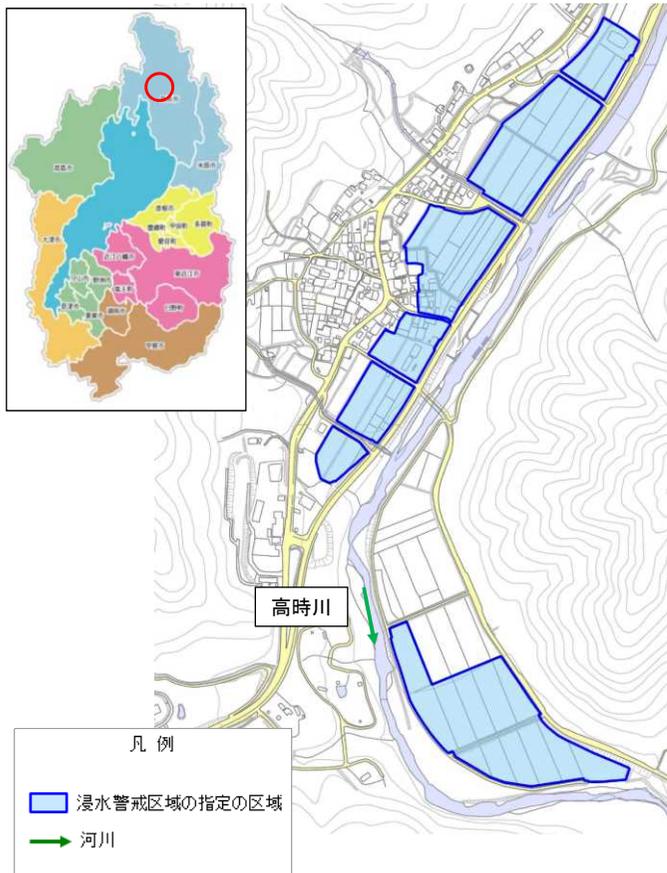


令和元年10月 図上訓練



令和2年12月
簡易量水標、まるまち看板設置

今回指定を予定している区域



浸水警戒区域指定に係る経緯

～令和3年度	
	■ 浸水警戒区域素案の作成、■ 想定水位の設定
令和4年度	
R04.08.02	■ 浸水警戒区域の役員説明会
R04.10.14	■ 浸水警戒区域の住民説明会
R04.10.15 R04.10.17	■ 「浸水警戒区域の指定」に関する個別説明会 10.15：下丹生集会所 10.17：長浜市北部振興局
R04.12.23	■ 第17回湖北圏域 水害・土砂災害に強い地域づくり協議会
R05.01（予定）	■ 浸水警戒区域指定（案）の縦覧
R05.01（予定）	■ 市長への意見照会
R05.02（予定）	■ 滋賀県流域治水推進審議会
R05.03（予定）	■ 浸水警戒区域指定の告示

取組を進める中で出た主な意見や質問（⇒質問に対する県の回答）

【高時川について】

- 8月の氾濫以降、高時川の濁りがいまだに残っているが、原因は分かっているか。スキー場跡地が原因という話もあるが、奥川並も相当崩壊しており、濁りが取れないのではないかと。⇒原因はまだ分かっていない。また、スキー場跡地が原因と特定できる材料はない。今後、調査が進められる。
- 丹生ダムが中止となり、河川整備も進んでいない。仮に丹生ダムが完成していれば8月大雨時の災害は防げたと思うが、どう考えているか。⇒丹生ダムや河川改修が今回の降雨における被害軽減にどれほど効果があったかについては不明であるが、河川整備については河川整備計画に基づき順次実施していく予定であり、ご理解いただきたい。
- 丹生ダムも大戸川ダムと同じ条件だと思っており、丹生ダムが再開できないということは言えないと思う。

【防災無線について】

- 防災無線が聞こえにくく、緊急の場合は間に合わない。⇒防災無線のみの周知ではなく、自治会長への連絡や安心安全メール、LINE等の様々な方法で周知を補完し、対応している。（長浜市）



令和4年10月 住民説明会